



# 千一ム掛特



NO.3 赤澤 智子

## 7月7日は「たなばた」

7月7日の七夕（たなばた）といえば、織姫と彦星が年に一度再会する日、短冊に願いを書いて星に願う日として有名ですが、七夕の由来・起源や意味を知ると、行事の意味がわかります。七夕は五節句のひとつで、縁起の良い「陽数」とされる奇数が連なる7月7日の夕べに行われるため「七夕の節句」といいます。また、笹を用いて行事をすることから、別名「笹の節句」と呼ばれています。家族で願い事を書いて過ごされた家庭もあると思います。いつの日も子どもの成長を祝う親の気持ちは、昔も今も変わりませんね。

## スクールバス置き去り前園長に実刑



令和4年9月に静岡県認定こども園で、送迎用バスに置き去りにされた女児が熱中症により死亡するという大変痛ましい事案が発生しました。

これらの事案を受け、静岡県ではスクールバスの全車両に置き去り防止装置が付けられましたが、この事件は絶対に忘れてはいけない事件です。命の大切さを我々教育者は重く受け止め安全安心な教育環境を全職員に徹底したところです。



## 水泳指導が始まりました。



プールからみんなの歓声が聞こえてきています。いよいよ夏が来たなあと感じる瞬間です。しかし、高知市立長浜小学校の水泳の授業で4年生の男児がおぼれて死亡した事故を受け、高知県では臨時校長会を開き、小中高など市立の全60校の今季の水泳の授業を中止すると伝えられました。来年以降に水泳授業の監視体制などを定めた方針がまとまるまで、再開しないということです。臨時校長会では、冒頭で松下整・教育長が「あらためて安全意識や危機管理をはかってほしい」と述べられましたが、尊い命が失われたことは本当に痛ましすぎることです。本校では、体育課を中心に安全管理の徹底と事故防止のために監視体制を強化して水泳の指導に当たっています。